

★実務で成果を出すためのデータ分析と機械学習モデル作成の重要ポイント！

【LIVE配信】【アーカイブ配信】

実際の業務で活用されているデータ分析技術を題材に、

予測モデル作成の考え方や、モデルの精度・妥当性の判断、データの扱い方、結果の解釈をわかりやすく解説。

Pythonデータ分析実践講座（入門編）

1名分料金で
2人目無料セミナーURLはこちら→<https://www.rdsc.co.jp/seminar/2605116>

- ◆日時：2026年05月21日（木）10:30～16:30
- ◆アーカイブ配信：5/22（金）～6/5（金）何度でも受講可能
- ◆受講料：1名につき55,000円（税込、資料付）

会員（案内）登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円（税込）から

・1名で申込の場合、**49,500円（税込）**へ割引になります。・2名同時申込で両名とも会員登録していただいた場合、**計55,000円（2人目無料）**です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】電気通信大学 データ教育センター

特任助教 佐野 遼太郎氏

【ご経歴等】2015年3月に名古屋大学大学院にて修士号（数理学）を取得後、株式会社金融エンジニアリング・グループ、株式会社ディー・エヌ・エー、富士通株式会社を経て、2022年10月より電気通信大学特任助教。実務において、リスク管理、危険運転自動検出、運動の骨格情報に関わる分析についてデータサイエンティストとして従事。また、2016年から社内外において、個人向け、法人向けのデータサイエンティスト育成も行ってきた。Kaggle Master。Kaggle コンペでは2019年のGoogle Analytics Customer Revenue Predictionにてチームリーダーとしてチームを牽引し、世界4位を獲得。

【講演の趣旨】実際の業務で活用されているデータ分析技術を題材に、特に機械学習を用いた予測モデルを作成する際に重要となる考え方やポイントを重点的に学びます。現在では、データを入力すれば自動的に予測モデルが生成されるツールも多く登場しており、以前よりも手軽に機械学習を扱えるようになりました。しかし、単にデータを渡して結果を得るだけの“丸投げ”の使い方では、実務の現場で本当に役立つ「使える」モデルを構築することはできません。モデルの精度や妥当性を判断する視点、データの扱い方、結果の解釈など、実務で成果を出すためにはいくつかの重要なポイントがあります。本講座では、そうした実務に耐えうる予測モデルを構築するための基本的な考え方や進め方を、具体的な視点とともにわかりやすく紹介します。なお、本講座は1日で学ぶ形式のため、内容は入門的な位置づけの導入編となっていますが、実務を意識した実践的な視点を身につけることを目的としています。

【プログラム】

1. Python 入門

- 1-1. Python の基礎
- 1-2. Pandas の基礎

2. モデルの精度評価

- 2-1. ROC 曲線と AUC

3. 決定木

- 3-1. 決定木の概要
- 3-2. 決定木の得手不得手
- 3-3. 演習

4. 過学習

- 4-1. 過学習について
- 4-2. ホールドアウト法
- 4-3. クロスバリデーション法
- 4-4. 演習

5. リークとビジネス応用の注意点

- 5-1. リークについて
- 5-2. ビジネス応用の注意点
- 5-3. ROC 曲線の使い方

『Pythonデータ分析』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812 ※ご希望の参加形式にチェック下さい⇒< LIVE / アーカイブ >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>